

岩手県立大学 2016(H28)年度 新入学者アンケート

集計結果報告書（学外公開用抜粋）
2016（H28）年6月

目次

1. 調査の概要	1
2. 調査結果の要約	2

1. 調査の概要

- ① 実施時期・方法：2016年4月新入生オリエンテーションにて配布・回収
- ② 対象：岩手県立大学新入学者 703名
- ③ 回答・回収状況：677票（回収率：96.3%）
- ④ 回答者内訳

問16. 性別

1. 男性	286 (42.2)	
2. 女性	377 (55.7)	
3. 無回答	14 (2.1)	
合計	677 (100.0)	0 20 40 60 80 100%

問17. 学部学科

1. 看護学部看護学科	90 (13.3)	
2. 社会福祉学部社会福祉学科	57 (8.4)	
3. 社会福祉学部人間福祉学科	44 (6.5)	
4. ソフトウェア情報学部ソフトウェア情報学科	161 (23.8)	
5. 総合政策学部総合政策学科	113 (16.7)	
6. 盛岡短期大学部生活科学科	50 (7.4)	
7. 盛岡短期大学部国際文化学科	52 (7.7)	
8. 宮古短期大学部経営情報学科	102 (15.1)	
9. 無回答	8 (1.2)	
合計	677 (100.0)	0 20 40 60 80 100%

2. 調査結果の要約

問 1 第一希望の大学

全体では「第一志望だった」72.1%、「第二志望だった」16.2%、「第三志望以下だった」10.5%となっている。

問 2 本学の入試に関する情報の入手方法

本学の入試に関する情報の入手方法上位 3 項目は、「入学案内(冊子)を読んだ」50.1%、「本学のホームページを見た」47.1%、「高校の先生からアドバイスを受けた」34.9%となっている。

問 3 本学受験や入学前の問合わせ状況

全体としては、11.5%の学生が何らかの問合わせをしている。「問合わせ時の担当者の対応」については 94.9%が満足しており、「どちらかといえば不満」「不満」と回答したのは 5.1% (78 人中の 4 人)であった。

問 4 本学の大学説明会やオープンキャンパスへの参加状況と参加時の満足度

受験にあたり、本学の大学説明会やオープンキャンパスに参加した学生は約 5 割。参加割合が最も高いのは社会福祉学部社会福祉学科 71.9%、最も低いのは宮古短期大学部経営情報学科 37.3%となっている。満足度については、参加した学生の 94.4%が「大学について大変よく理解できた」34.7%、「概ね理解できた」59.7%と回答をしている。

問 5 本学のホームページの閲覧状況と満足度

受験にあたり、本学のホームページを閲覧した割合は 89.2%。閲覧したと回答した学生の 89.7%が、大学について「大変良く理解できた」26.0%、「概ね理解できた」63.7%と回答している。

問 6 本学の入学案内(冊子)の閲覧状況と満足度

受験にあたり、本学の入学案内(冊子)を見た学生は 90.4%。そのうち 94.3%が、大学について「大変良く理解できた」41.2%、「概ね理解できた」53.1%と回答している。

問 7-1 本学の受験決定時期

本学の受験を決めたのは、全体としては入試直前といえる「センター試験の後」28.4%が最も高くなっている一方、次いで「高校 2 年以前」20.4%が高くなっている。学部・学科ごとに差異もある。

問 7-2 本学への受験・入学形態

新入学者の受験・入学形態の状況全体としては、一般入試が(前期)45.2%、(後期)11.8%で合わせて 57.0%、次いで推薦 34.7%、AO入試 4.1%となっている。

問 8 大学進学を考えた理由

新入学者が大学進学を考えた理由の上位は、「専門的知識や技術を修得するため」49.5%が最も高く、次いで「就職に必要な勉強をするため」30.6%、「就職に有利だから」26.9%となっている。学部・学科ごとに特色も出ている。

問 9 進学や受験のときに本学を選んだ理由

進学や受験のときに、本学を選んだ「大きな理由になった」という積極的な肯定回答だけみていくと、「公立(県立)大学である」73.0%に次いで「資格の取得」36.5%、「教育課程や授業構成内容」31.0%、「校舎、キャンパス等のイメージ」30.6%、「教育設備(図書館、情報機器など)」29.4%となっている。

問 10 一般的な受験大学選択の理由

「校舎、キャンパス等のイメージ」「全体としてのブランドやイメージ」「学校案内書やHPの内容」「高校や塾の先生の薦め」などの項目において、「本学を選んだ理由」が一般的な理由と比較して順位が高くなっている。また「両親の意見や薦め」「推薦入試制度」についても、影響度の順位が高くなっている。

問 11 筆記試験問題の難易度、解答時間、内容の適切性

筆記試験問題の難易度、解答時間、内容の適切性について、全体として「適切でないと思った」のは、筆記試験を受けた学生 583 人のうち 15 人(2.6%)であった。

問 12 面接や面談での質問内容や実施方法の適切性

面接や面談を受けた学生 404 人(無回答を除く)のうち、「適切でないと思った」のは 4 人。「どちらともいえない」は 22 人。面接や面談を受けた学生 404 人のうち 378 人(93.6%)が「適切だと思った」と回答している。

問 13 試験のときの教職員の対応、試験室等の設備、会場案内の適切性

試験のときの教職員の対応、試験室等の設備、会場案内の適切性についての「適切でないと思った」のは全学で 1 人。「どちらともいえない」は 17 人となっている。

以上